

工学分館設置 40 周年記念企画実施報告

横山 美佳, 藤本 菜穂子, 永井 伸

1. はじめに

工学分館は工学系を中心とした分野の蔵書約 37 万冊を提供する図書館で、建物は旧館及び新館（総面積約 5,400㎡）からなり、工学系関係部局のある青葉山東キャンパスの中央に位置している。昭和 53 年（1978）4 月 1 日に設置され、平成 30 年（2018）年に 40 周年を迎えた。

そこで工学分館では、以下のとおり 40 周年記念展示会を開催した。分館の全職員が協力して企画したものである。本稿では、展示会を中心とした記念企画の実

施について報告する。

会期：平成 30 年（2018）11 月 1 日（木）～ 30 日（金）

場所：工学分館 エントランスホール・1 階ホール

内容：(1) 「工学分館の歴史と科学の 40 年」展
(2) 「工学分館の思い出・エピソード」展
(3) 利用者からのお祝いメッセージ展示

2. 「工学分館の歴史と科学の 40 年」展

40 年という節目の年に、工学分館と科学の歩みに対する理解を深め興味を広げる機会にしてみよう、1 階ホールを会場に、「工学分館の歴史」と「科学の 40 年」の 2 部構成による展示を開催した。工学分館の歴史に関する説明パネルと科学・工学分館等の年表パネルのほか、関連図書を展示した。



「工学分館の歴史と科学の 40 年」展の様子

(1) 「工学分館の歴史」について

工学分館の歴史を、『東北大学百年史』、図書館報『木這子』、工学分館運営委員会資料など、さまざまな記録をもとに経過を辿り、以下の構成でパネル 10 枚を展示した。加えて過去の館内写真と同じ場所から撮影した現在の写真を並べ、様変わりしている様子を伝えた。

①工学部の設置と学科図書室

大正 8 年（1919）の工学部創立当初は各学科に図書室が置かれていた。

②中央図書室の誕生

工学部の片平キャンパスから青葉山キャンパスへの移転に伴い、資料の受入整理業務等を行うため、昭和 42 年（1967）、工学分館の前身となった「中央図書室」が設置された。

③工学分館の設置

昭和 53 年（1978）、資料の集中管理促進とサービス向上を目的とした、附属図書館の「分館」に発展した。現在の旧館が竣工したのは昭和 55 年（1980）11 月である。

④新館の増築

平成 7 年（1995）2 月に収蔵スペース増強のため新

館を増築した。

⑤学科図書室の統合

学科図書室の資料と職員は、分館設置を機に順次工学分館に統合されてきたが、新館増築時にさらに統合を進めて機能強化を図り、現在の形となった。

⑥資料の電子化

2000年代に入ると、電子ジャーナルの普及によ

り図書館に来なくても論文が閲覧できるようになり、図書館の利用に変化が現れた。一方で学生用図書の実を図り、貸出冊数が年々伸びていった。

⑦学習スペースの多様化

新たな学習スタイルに応じた多様なスペースを提供するため、平成27年(2015)にはアクティブ・ラーニングと語学自習が可能なAbelujo(アベルユ)を設置した。



工学分館
昭和55年(1980)

3. 工学分館の設置

外国雑誌・索引誌の増加や価格高騰などを背景に、資料を集中管理し、各種サービスの強化を目的とする分館構想が進められ、**昭和53年(1978)4月1日**に工学分館が設置された。

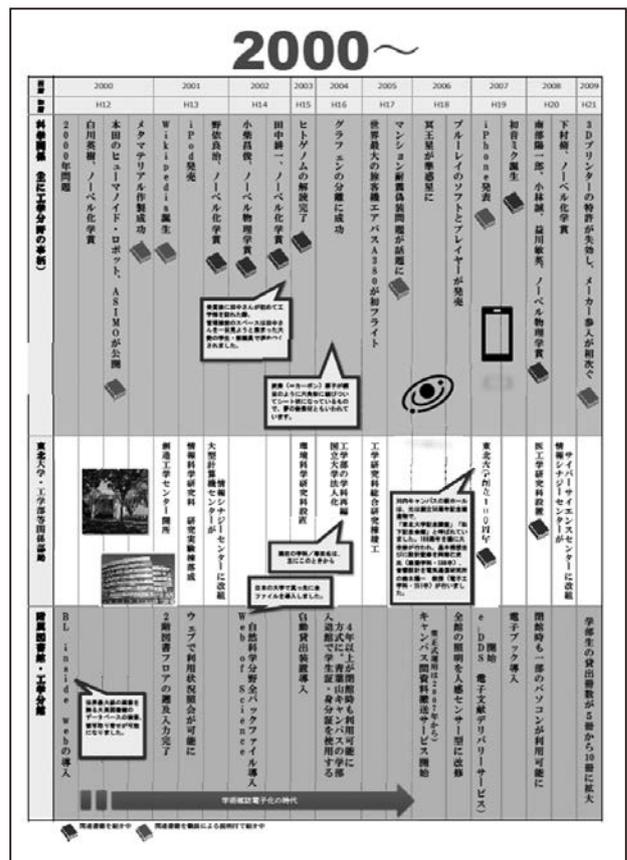
当初、書庫や閲覧室は依然として工学部管理棟内にあり、狭隘・不便だったが、**昭和55年(1980)11月**に現在の旧館が建てられた。

これを機に、電気系図書室、資源工学科図書室が分館に統合された。

「工学分館の歴史」パネル例



「工学分館の歴史」パネル展示の様子



年表の例

1989年 ティム・バーナーズ・リーにより WWW 開発

『インターネットの基礎：情報革命を支えるインフラストラクチャー』
村井 純著 2014年10月

インターネットは、20世紀最大の発明の1つといっても過言ではありません。いまや水同様に当たり前の存在となったWWWを含むインターネット技術にも、さまざまな経緯や目指すものがあつたそうで、「日本のインターネットの父」と呼ばれる村井氏により平易に語られており、最終章では若い研究者への「宿題」が提起されています。

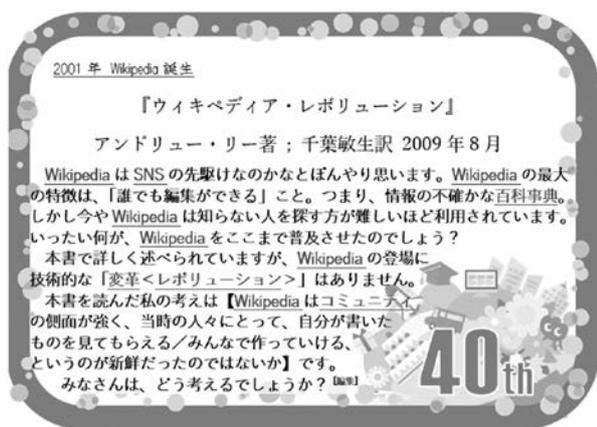
1987年にオンライン文献データベース(おそらくINACISIS-IRI)が登場した時のこともさらりと出てきているんですよ(p.59)。

図書解説のPOP例 その1

(2) 「科学の 40 年」について

「科学の 40 年」では、科学や利用者が所属する学部等の歴史を振り返りながら未来に目を向ける機会にしてみよう、年表と関連図書を展示した。

年表は、東北帝国大学が設置された明治 40 年（1907）から工学分館が設置された昭和 53 年（1978）までにもふれつつ、工学分館設置後の 40 年間に起こった科学（主に工学関係）の出来事をピックアップし、工学部等の歩みや工学分館での出来事も加えてまとめた。また、

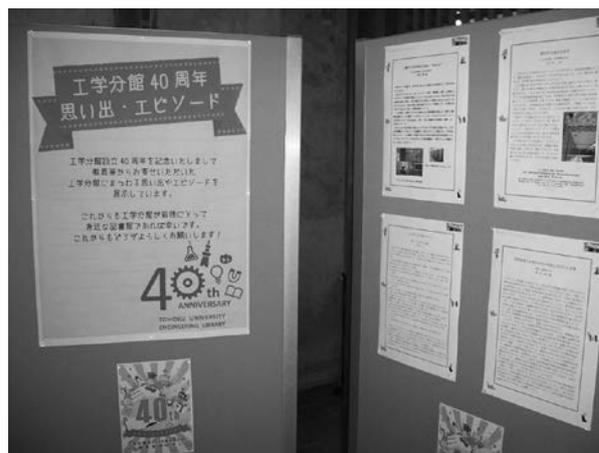


図書解説の POP 例 その 2

解説も付けて若い学生世代にもわかりやすいものとした。

展示した図書は、過去の出来事だけでなく、未来予測に関するものも含めて 53 冊で、半数以上については解説 POP を添えた。

期間中 24 冊が 37 回貸し出された。展示図書の半数が 1～2 回貸し出されたことから、本展示が利用者に関心を持ってもらえたと考えている。



「工学分館の思い出・エピソード」展の様子

3. 「工学分館の思い出・エピソード」展

工学分館の 40 周年を迎えるにあたり、事務文書などから過去の歴史を把握することは重要だが、一方、利用者や職員の生の声を集めることで、公式の記録には残らないような事柄に光を当てることができると考えた。

そこで、工学分館の運営委員や工学分館をよく利用していただいている教員 9 名に、以下のような内容の、工学分館にまつわる思い出やエピソードを寄せていただき、エントランスホールを会場にパネル展示を行った。

- ・研究を進める上で参考になった本の紹介

- ・学生時代の図書館利用に関する経験談
- ・古い文献や歴史的な文献を保管していることの重要性
- ・文献複写や現物貸借サービスの有用性
- ・人文系や外国語の図書を増やすことへの期待
- ・印刷媒体の書籍を使うことの効用

また、工学分館の元職員 3 名からご寄稿いただいたほか、現役職員からも 1 名寄稿があった。在職当時の職場や青葉山キャンパスの雰囲気、仕事の思い出などを、写真を交えて紹介していただくことができた。

4. 利用者からのお祝いメッセージ展示

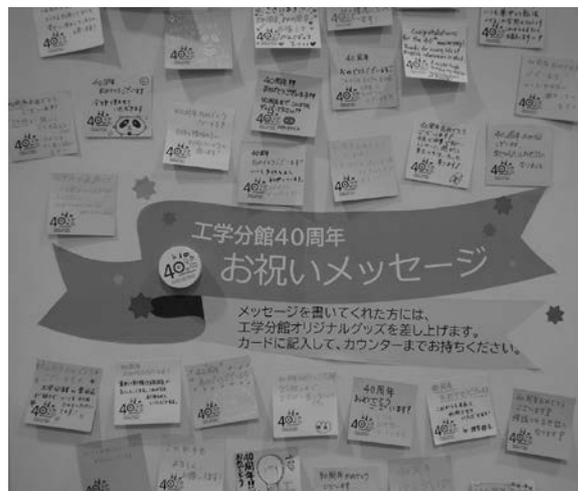
40 周年を利用者と共に祝いたいという考えから、展示会を開催するだけでなく、利用者にお祝いメッセージをいただき、それをメッセージボードに掲示するこ

ととした。期間中、専用のカードに色とりどりのペンで寄せられたメッセージは 86 件。イラスト入りで記入していただいたメッセージも多数ある。

以下に、いくつかのメッセージを紹介する。

- ・40周年おめでとうございます！！
- ・集中勉強できる工学分館の雰囲気が気に入っています。
- ・いつも気持ちよく利用させていただいています。
- ・工学分館の蔵書量には感嘆するばかりです。
- ・興味のある本がたくさん置いてあるのでよく利用しています。
- ・いつも新着図書を見るのが楽しみです。
- ・試験や研究で本当にお世話になっています。
- ・修論でもお世話になります。
- ・語学用スペースが特に気に入っています。
- ・Abelujo 最高。

- ・これからも学生生活を支える場所として頑張ってください。



お祝いメッセージ

5. 広報

記念展示会を開催するにあたり、工学分館の40周年と展示会を、主に工学分館の利用者に対してアピールするため、ポスター掲示やウェブページの開設、記念グッズの配付、SNS等による広報を行った。



40周年記念のポスター

(1) 40周年記念ウェブページ開設

ウェブページは、展示会開催前の平成30年(2018)10月10日(水)に開設した。展示会の広報とアーカイブを目的としたもので、ページは、トップページのほか、「歩み」「思い出」「写真」「グッズ」で構成されている。

「歩み」「思い出」「グッズ」は展示会のアーカイブも兼ねており、展示会終了後に「工学分館の歴史と科学の40年」展で展示した歴史パネルや年表、「工学分館の思い出・エピソード」展で教員から寄せられた原稿なども順次掲載していく。「写真」は過去の記録写真により工学分館の歴史を振り返るページとした。

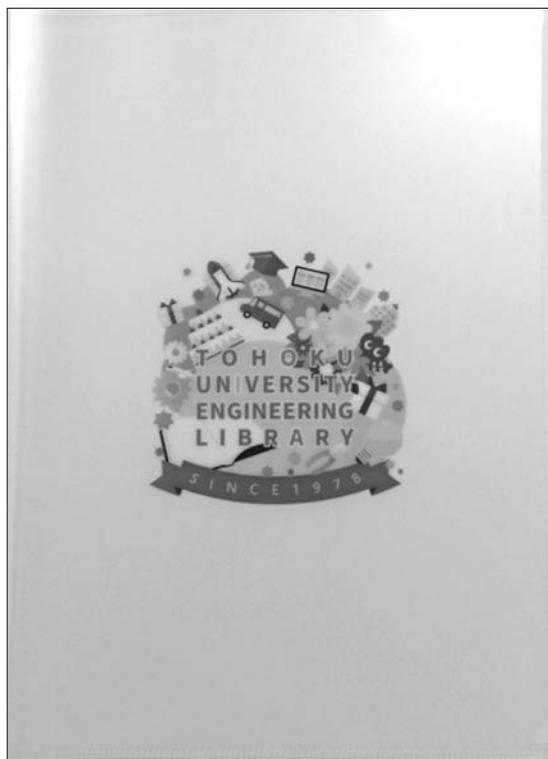


40周年記念ウェブページ

(2) 記念グッズ製作と配付

40周年と工学分館の認知向上のため、オリジナルデザインのグッズを製作し、期間中、工学分館の資料を借りた方、お祝いメッセージを記入した方、「工学分館の思い出・エピソード」をお寄せいただいた方に進呈した。

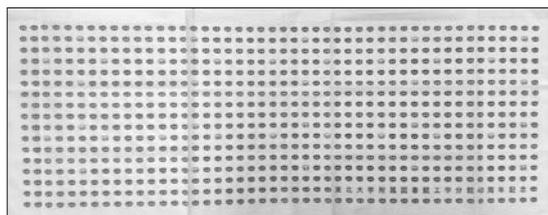
グッズは、クリアファイル2種（A4サイズ）、マグネットクリップ（φ59×H15mm）、手ぬぐい（W900×H340mm）である。40周年記念のポスターやロゴマーク、東北大学附属図書館イメージキャラクター「はぎのすけ」をモチーフとしており、全て職員がデザインしたものである。利用者にも大変好評だった。



クリアファイル（40周年ポスター）



クリアファイル（40周年ロゴマーク）



手ぬぐい（はぎのすけ）



マグネットクリップ（40周年ロゴマーク）

おわりに

40周年記念展示会が開催されて間もなく、利用者から、投書箱に次のようなご意見をいただいた。「40周年おめでとうございます。展示を楽しく拝見させていただきました。これからも展示を続けてください。非常におもしろいです」。また、展示会終了後には、今後図書の展示で取り上げてほしいテーマについて、要望も寄せられた。

展示会が、利用者の図書への関心を高める機会になったとすれば幸いである。これからも豊富な蔵書を活かした展示会等を通じて、工学分館が、図書と利用者との接点を創出する場となれるよう、取り組んでいきたい。

<担当者>

(1) 「工学分館の歴史と科学の40年」展

工学分館公開・展示 WG

藤本菜穂子 (管理係長), 加藤舞, 大友悠莉子

(以上, 管理係員), 田名部晃平, 菊池真琴, 伊藤理恵 (以上, 整理・運用係員)

(2) 「工学分館の思い出・エピソード」展

永井伸 (整理・運用係長), 津村礼美, 千葉景子
(以上, 整理・運用係員)

(3) 広報・ウェブページ

上村法子, 伊東隆志 (以上, 整理・運用係員), 横山美佳 (専門員)

(4) 記念グッズ製作・お祝いメッセージ展示

菅原真紀, 松元由美子, 堀弘子 (以上, 管理係員)

(よこやま みか, 附属図書館工学分館専門員

ふじもと なおこ, 附属図書館工学分館管理係長
ながい しん, 附属図書館工学分館整理・運用係長)